

平成26年度当初予算(案)

平成26年1月21日
京都市

担当:行財政局財政部財政課(222-3291)

I 予算編成のポイント

(1) 予算編成に当たって重視した視点

- ① あらゆる京都の強みを生かし、成長戦略を推進。国の経済対策に積極的に呼応し、公共投資を増額するなど、京都経済の活性化と安定した雇用の創出に向けた取組を更に強化
- ② 京都が誇る子育て支援、教育、福祉の一層の充実、台風18号被害の総括を踏まえ、震災対策も含めた災害に強い安心安全なまちづくりの加速化など、市民のいのちと暮らしを守る取組を充実
- ③ 日本を代表する京都の文化や景観などの魅力と観光客へのおもてなしの心に磨きをかけ、都市格を更に高めるとともに、東京オリンピック・パラリンピックや関西ワールドマスターズゲームズの開催を機に、精神文化の拠点都市、京都の魅力を国内外に発信

(2) 予算(案)の規模

※ 金額は、現時点のおおよその額であり、今後変動があります。

- ① 25年度予算を上回る額を確保。資金需要の減少に伴い中小企業金融対策預託金が△130億円の大減となる中で、なお今年度より増となる積極予算(同預託金減の要素を除くと実質160億円の増)
一般会計 約7,400億円 (平成25年度予算7,366億円)
- ② 2月補正と一体となって編成。公共投資の規模は大幅増となった今年度並みを確保(約700億円)

(3) 財政構造改革が大きく前進

① 徹底した行財政改革の推進等により財源不足額を大幅に圧縮

昨年10月予算編成前段階: 社会福祉関係経費の増等により, 財源不足額見込みは206億円

- 財政構造改革を全庁挙げて徹底的に推進
 - ・ 職員数の削減等により, 人件費を今年度予算から30億円削減
(平成19~26年度までの7年間で190億円削減)
 - ・ 事務事業見直し等により40億円の財源を確保 など
- 国の経済政策と本市の成長戦略があいまって, 市税収入は大幅に増加
 - ・ 市税収入は約2,510億円で, 今年度予算から約100億円の増
 - ・ 地方交付税及び臨時財政対策債は今年度予算から約30億円の減

「特別の財源対策」は目標の概ね100億円に対し,
半分の50億円以下まで圧縮

② 実質市債残高※を着実に縮減

平成26年度中発行(借入)予定額 約440億円
償還(返済)予定額 約590億円

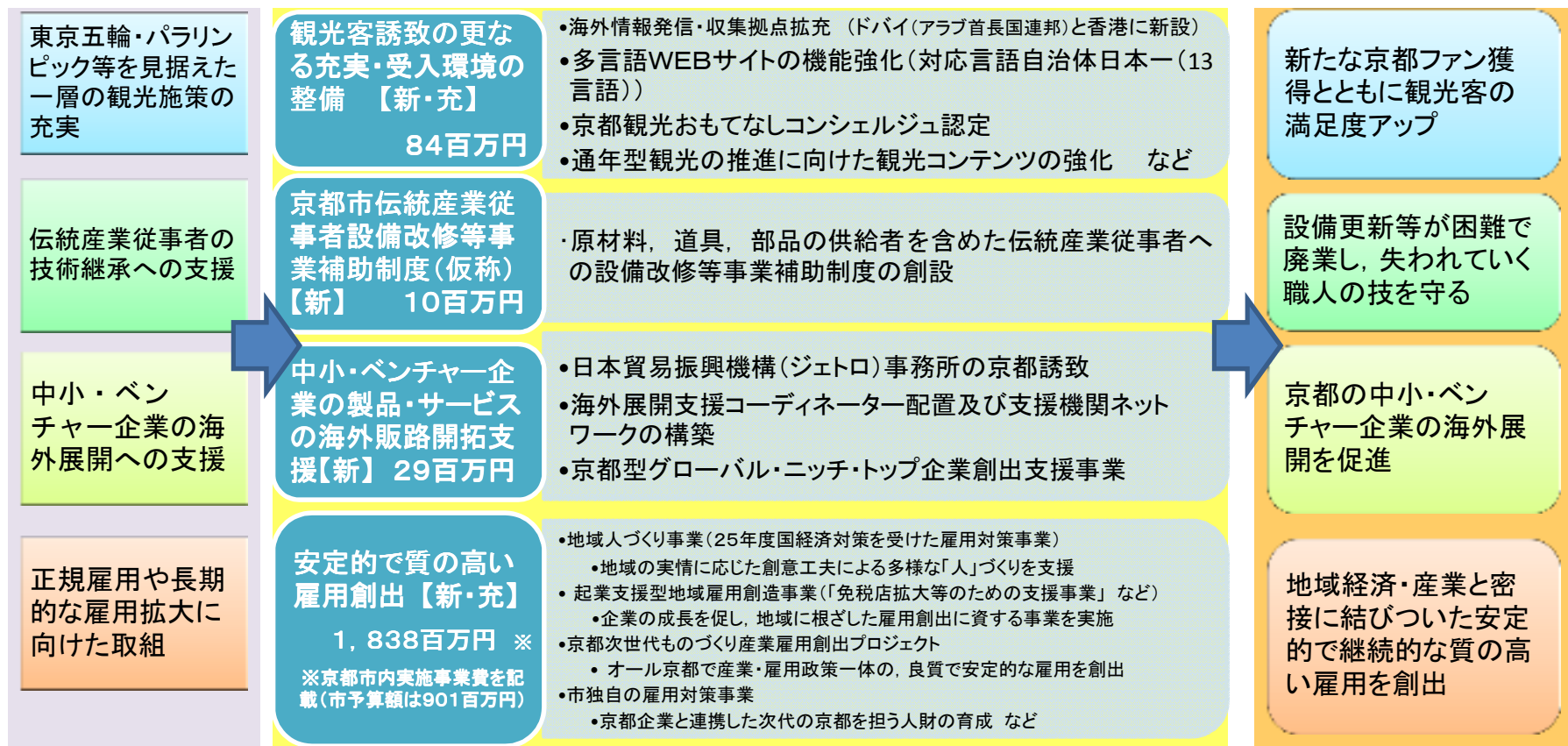
残高を今年度から150億円縮減
約9,420億円→約9,270億円

※実質市債残高: 国が返済に責任を持つ臨時財政対策債を除く, 本市が実質的に返済に責任を負う残高

II 重要課題と重点施策の概要

1 京都の強みを最大限に生かした地域経済の活性化と安定した雇用の創出

- 東京オリンピック・パラリンピック開催等を見据え、徹底的に相手の立場に立ち、世界を視野に入れた「おもてなし」の心の観光政策の推進
- 「日本の宝」であり、「京都の誇り」である伝統産業を支える新たな支援
- 国際化を目指す中小・ベンチャー企業へのきめ細かい支援、安定的で質の高い雇用創出を推進



2 福祉・医療・子育て支援・教育などの充実

- 出会いから、妊娠、出産、赤ちゃんのいる暮らしまで、必要な支援を展開
- 「京都で子育てして良かった」と実感できる子育て支援・子育て環境の整備を推進
- 高齢者や障害のある方などが生きがいを持って健やかに暮らせる福祉施策の充実

保育所入所や多様な保育サービスへの需要が増加

保育所待機児童ゼロへの取組と多様な保育サービスの提供 【新・充】
658百万円

- ・民間保育所整備助成
 - ・新設3箇所，増改築3箇所，定員増410名
- ・昼間里親委託事業の拡充(5箇所，定員増25名)
- ・多彩な保育サービスの提供
 - ・延長保育：192→195箇所
 - ・休日保育：6箇所→7箇所
 - ・病児保育：3箇所→4箇所
- ・保育士等人材確保事業の充実
- ・幼稚園における預かり保育の充実

待機児童解消とともに多様な保育ニーズを充足

出会いを求める方、子どもを産みたくても産めない方や産後身近に支援者のいない母子への支援

出会いから、妊娠、出産、赤ちゃんのいる暮らしまでの支援 【新】
19百万円

- ・婚活支援
 - ・婚活事業に取り組むNPO法人等の支援等
- ・産後ケア対策の充実強化「スマイルママ・ホッと事業」
 - ・身近に支援者がいない母子で体調不良や育児不安が確認された方に産後デイケアと産後ショートステイを実施
- ・※ 当初予算には計上していないが、平成26年度において、習慣性流産などの「不育症」に悩む方への支援策の充実について早期に着手できるよう研究を進める。

家庭を築き、子どもを産み、育てる喜びを実感していただき、子どもの健やかな成長を促進

高齢者がいきいきと健やかに暮らしていけるよう施設整備を推進

高齢者福祉施設整備【充】
666百万円

- ・介護基盤整備助成
 - ・特別養護老人ホーム 新設3箇所(定員増 204名)
 - ・小規模多機能型居宅介護拠点 新設5箇所 移転1箇所
 - ・認知症高齢者グループホーム6箇所(定員増106名)
- ・養護老人ホーム「健光園」建替整備助成
- ・盲養護老人ホーム船岡寮の移転・新築整備助成

利用者等の様々なニーズに応えられる介護・福祉サービスの充実

3 京都で暮らす方，京都を訪れる方全ての安心安全を守るための防災・老朽化対策

- 橋りょうの耐震化，緊急輸送道路の防災対策などにより，災害に強いまちづくりを着実に推進
- 増加する空き家への対応や京都ならではの密集市街地対策により防災性を向上
- 先の台風18号災害で明らかになった課題にも的確に対応

災害時の避難・救援，復旧活動等を支える健全な都市機能の確保

いのちを守る都市基盤防災・減災プロジェクト【充】

3,997百万円

- ・橋りょう健全化プログラムの推進(御池大橋など15橋の耐震補強など)
- ・緊急輸送道路に面する斜面等の防災対策(国道162号など)
- ・普通河川緊急対策(奥殿川など8河川)
- ・排水機場耐震改修(淀排水機場，三栖排水機場)

28年度までに重要路線上の橋りょう15橋のうち14橋の耐震補強など完了

防犯防災上の問題に加え，地域力の低下にもつながる空き家問題や京都の特性を踏まえた密集市街地の防災性の向上

地域の防災性向上と活性化に向けた「まち再生」の推進【新・充】

270百万円

- ・「京都市空き家の活用，適正管理等に関する条例」に基づき，支援・助成制度の創設等により「空き家の発生の予防」「活用・流通の促進」「適正管理」等の空き家対策を総合的に推進
- ・歴史都市京都における密集市街地等に関する対策の推進
 - ・地域の防災まちづくり推進のための助成制度を創設
- ・細街路対策
 - ・「新たな道路指定制度」の創設・活用促進と狭あい道路や行き止まり通路入口部の改善工事に対する助成制度の充実

10年間で10,000戸の空き家の活用・適正管理化を目指すなど，災害等に強く活力あるまちづくりを推進

正確かつ迅速な
情報発信と被災
された方等への
適切な支援

東日本大震災・台
風18号を契機とし
た災害対策の充実
強化 【新・充】
124百万円

- ・雨量解析データ「Xレイン」を基に新システムを構築し、250
m四方単位での雨量情報を提供
- ・観光客やターミナルにおける帰宅困難者対策の推進
- ・災害用備蓄物資・避難所運営資機材の充実強化

市民や観光客等
の安心安全の確
保

耐震性が低く、緊
急に改修が必要
な児童福祉施設
の改修

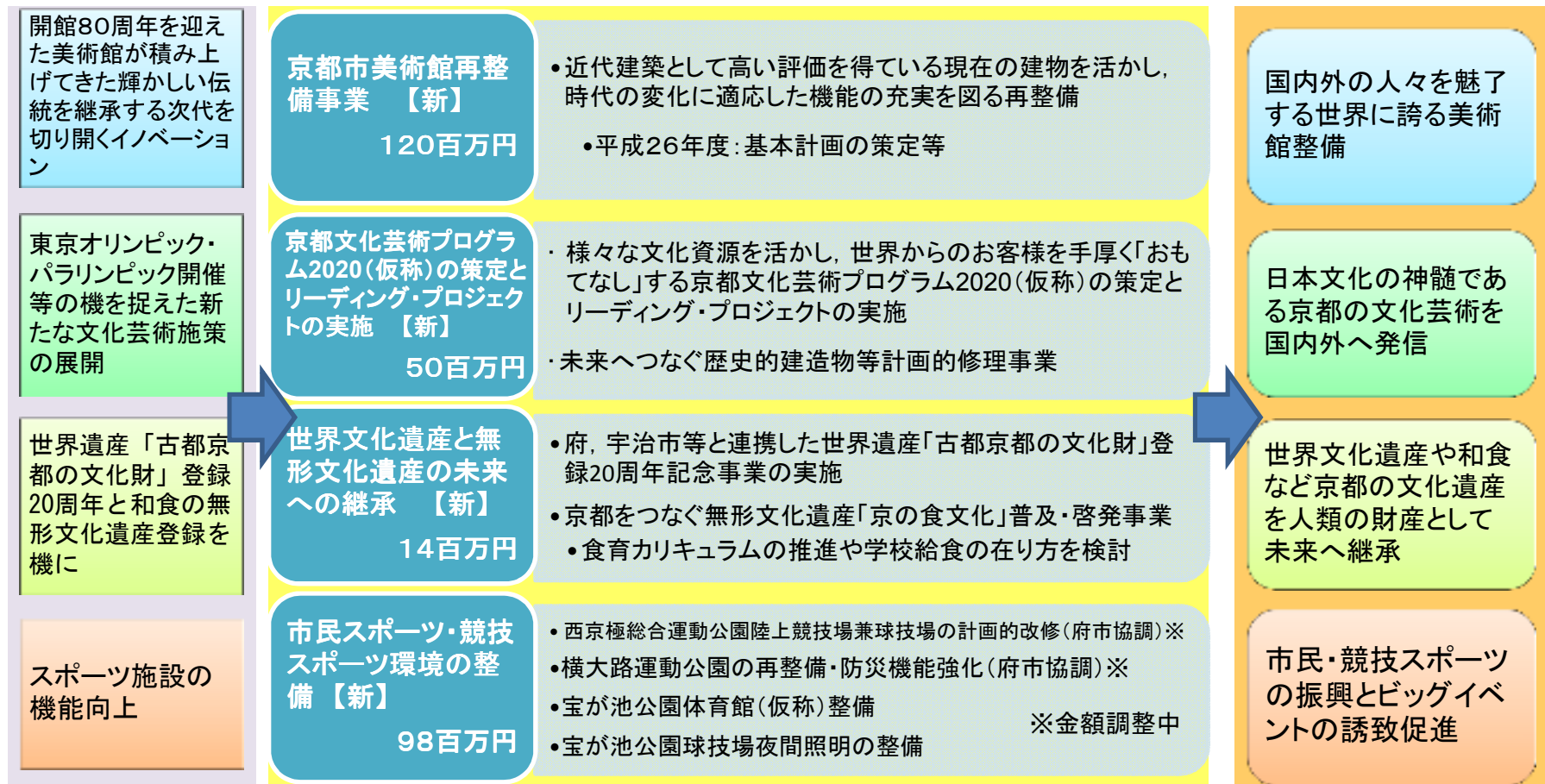
保育所・児童館の
耐震改修 【充】
264百万円

- ・民間保育所耐震改修助成
 - ・「京都市民営保育園耐震化計画」に基づく耐震改修経
費の助成 10園
- ・市有建築物(児童館, 保育所)耐震改修
 - ・設計7施設, 改修工事1施設

保育所や児童館
で過ごす子どもた
ちの安全安心の
確保

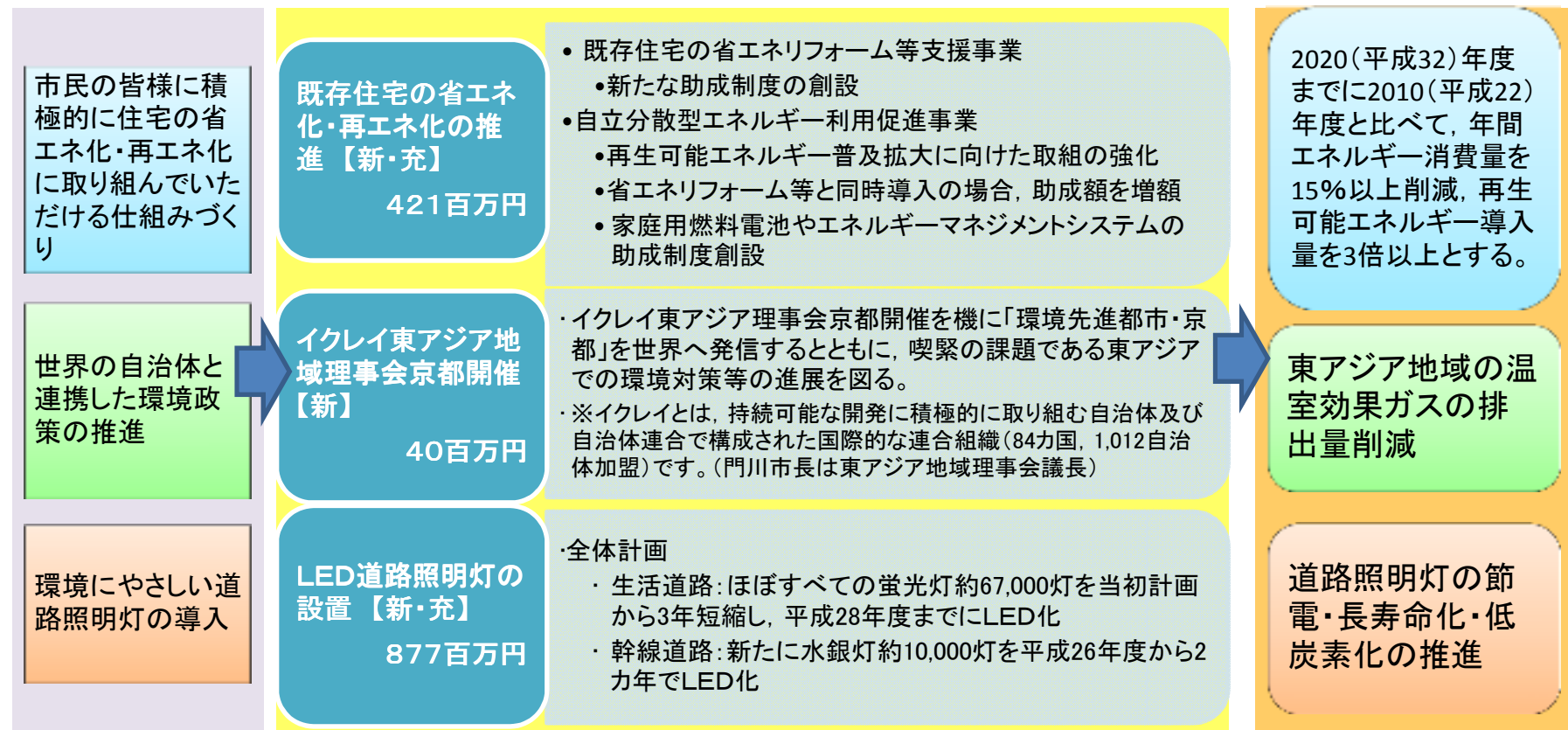
4 文化芸術の振興や地域の個性と活力あふれるまちづくりなど京都ならではの魅力の向上

- 文化首都・京都にふさわしい多彩な文化芸術施策を展開
- スポーツ環境の整備による市民スポーツ・競技スポーツの振興



5 環境にやさしい循環型社会，持続可能なエネルギー社会の実現

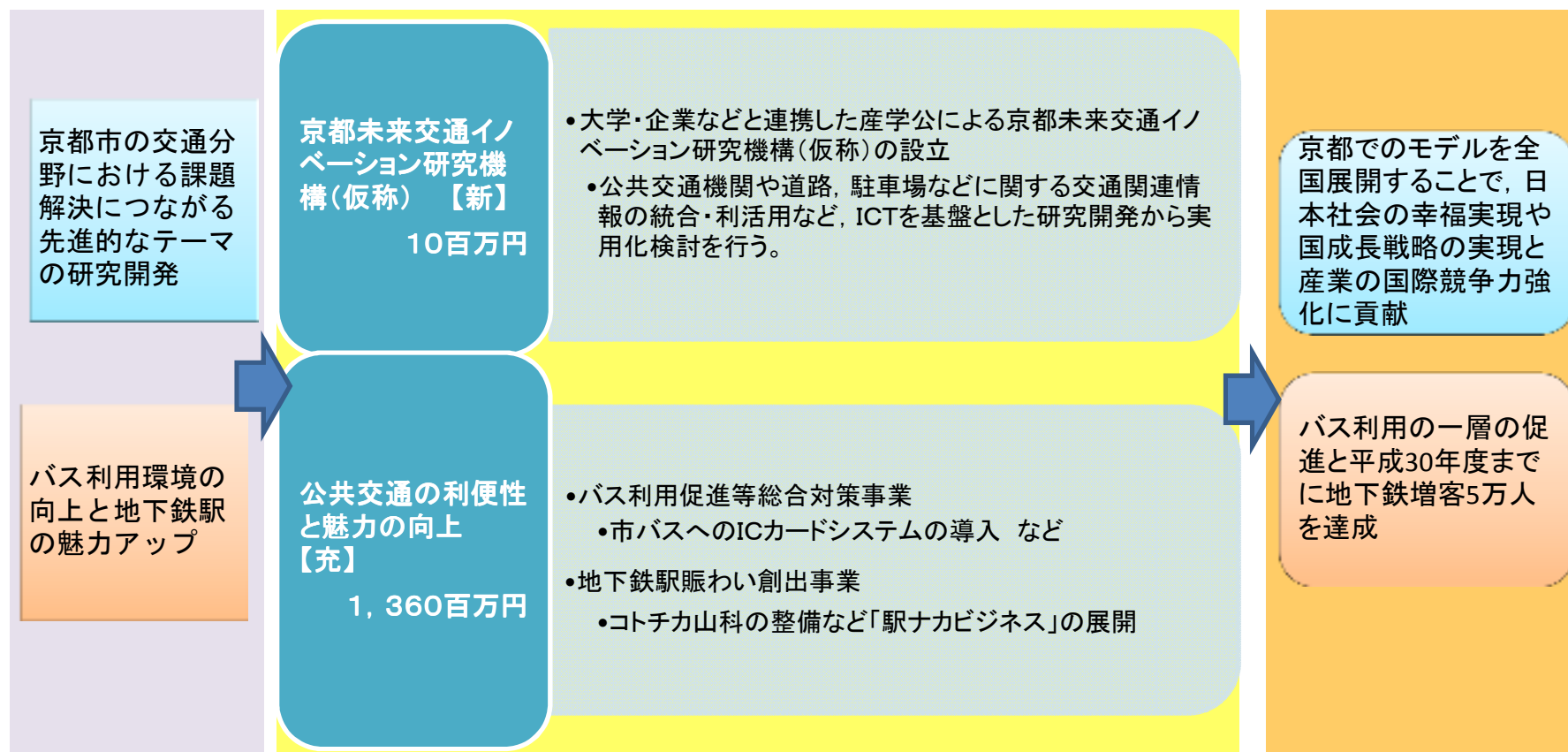
- 原子力発電に依存しない持続可能なエネルギー社会実現に向け，徹底した省エネルギーの推進及び再生可能エネルギーの普及拡大
- イクレイ東アジア地域理事会京都開催を契機とした環境先進都市・京都の世界への発信と東アジアの環境施策のけん引



6 都市の活力を高める「歩くまち・京都」の推進と都市基盤の整備など未来の京都への先行投資

○未来の京都・日本にふさわしい新たな交通分野の研究開発

○公共交通の利便性向上によりバス・地下鉄の一層の増客と「歩くまち・京都」を推進



東京オリンピック・パラリンピック開催等に向けて

～京都ならではの「おもてなし」の充実～

京都の神髄を国内外へ発信

- 外国人観光客誘致の強化 58百万円【再掲】
 - ・海外情報発信・収集拠点拡充(ドバイ(アラブ首長国連邦)と香港に新設→10拠点に)
 - ・多言語WEBサイトの機能強化(アラビア語, トルコ語, タイ語などを拡充)
→対応言語自治体日本一(13言語)
 - ・京都ブランド向上の取組(ラグジュアリー旅行関係者へ京都の魅力をPR)
- 通年型観光の推進に向けた観光コンテンツの強化 16百万円【再掲】
- 京都の魅力発信強化 10百万円
 - ・雑誌・テレビ等とタイアップした情報発信の充実や海外メディア対応プレスツアーの実施

京都に来られたすべての方に満足いただける「おもてなし」を

- 子どもたちによる観光客を「おもてなし」する国際文化観光都市・京都の魅力発信 83百万円
 - ・子どもたちが日本・京都を「知る取組」と日本・京都を「伝える取組」の充実
- 観光客受入環境の整備 10百万円【再掲】
 - ・京都観光おもてなしコンシェルジュの認定
 - ・ユニバーサル観光ナビの充実, 観光地トイレのおもてなし向上プロジェクト
- 京都文化芸術プログラム2020(仮称)の策定とリーディング・プロジェクトの実施 50百万円【再掲】
 - ・京都文化芸術プログラム2020(仮称)の策定とリーディング・プロジェクトの実施
 - ・未来へつなぐ歴史的建造物等計画的修理事業

京都市・京都府の主な協調事業

～二重行政を打破するための政策・施策の「融合」～

- 日本貿易振興機構(ジェトロ)事務所の京都誘致 4百万円【再掲】
 - ・京都事務所の運営費を共同で分担
- 西京極総合運動公園の計画的改修 調整中【再掲】
 - ・京都府からの補助金を財源とした計画的改修
- 横大路運動公園の再整備・防災機能強化 調整中【再掲】
 - ・京都府からの補助金を財源とした再整備及び防災機能の強化
- 京都動物愛護センター(仮称)を基軸とした人と動物が共生できるまちづくり 4百万円
 - ・共同で設置運営する京都動物愛護センター(仮称)の開設に向けた事業を実施
- 市衛生環境研究所と府保健環境研究所の共同化に向けた整備基本計画策定 2百万円
 - ・老朽化, 狭隘化が進む両施設の共同化による整備計画を推進